

新方式木質チップボイラーの開発
(中間評価)

質問・意見

回答

D委員	高含水率のチップに対して失火しないための対策はどうしているのですか？	チップの予備乾燥が重要です。そのための炉内のスペースも含水率100%までであれば、さほどのスペースは必要ないことがわかりました。燃焼炉に入った順にチップを燃やせるかが問題で、それができれば含水率100%までなら対応は可能だと思います。
	もし、システムとしての使い勝手を考えると、ボイラーは小型で連続運転し、温水暖房システムのようにするなど、使いやすさを念頭に入れて欲しいと思います。	参考にさせていただきます。
A委員	バーク(樹皮)だけ、あるいはバークが入っていても燃やせるのですか？	バークだけのチップの場合は想定しておりません。バーク入りチップは山から下ろしてきて、そのまま樹皮をむかずにチップとして使いますが問題ありません。
	樹皮を100%使うとなるとペレットにしたほうが安いという話があったと思いますが？	ペレット同士(樹皮、木部)で比較した場合は、樹皮ペレットの方が安価ですが、チップの場合は殆ど価格差は出ないと考えています。
E委員	チップの種類は広葉樹、針葉樹、どちらのチップでも燃焼させることはできるのですか？	燃焼速度の違いなどはありますが、両方燃やせるように検討しているところです。